桜隊原爆忌に参加して

8月6日、羅漢寺で行われた「桜隊原爆殉難者追悼会」に労演からは6名の会員が参加しました。

参加した会員の桜隊殉難者、仲みどりさんのご遺族、岡田さんから次のような感想をいただきました

○

今年も原爆投下から63回目の日を迎えました。一瞬にして多くの人の死、その後の闘病生活の末亡くなった人達。世界で始めて動物実験の様に殺された多くの人、その中に叔母がいました。9名の丸山貞夫さん率いる「桜隊」の1員として広島に滞在し、被爆したのです。叔母はシーツにくるまって東京に帰って来ました。東大病院で「原爆症」と認定され、8月24日に亡くなったとのことです。

毎年この日を悼んで目黒の五百羅漢寺で法要が行われます。今年は丹阿弥さんをお迎えして二度とこの様なむごい事が起こらない様、世界から核兵器をなくす様みんなの思いを新たに会を終わりました。

（日本橋37　岡田美津枝）